



AIA Singapore社は次世代データガバナンスを実現

最前線の代理店に正確な顧客データを提供、顧客の保険内容に合わせて提案をパーソナライズ

「Informatica Axon Data GovernanceとEnterprise Data CatalogおよびData Qualityを統合することで、次世代データガバナンスのための完全なソリューションを確立できました。今は重要なデータ要素について、ユーザーが実際にどこからアクセスしているのか、またどこで入力しているのかというところまで、エンドツーエンドのリネージュを把握できるようになりました」

Ronald Chung 氏
AIA Singapore社エンタープライズデータ担当セクション責任者

目標

業務データ（保険契約プロセスやデータ標準など）の状態と健全性に対する全社の理解を深める

リネージュとインテリジェントなメタデータに基づいて、顧客データと財務データを処理内容に応じて探索および理解する

データ品質を高めて、営業の促進、意思決定の改善、運用コストの削減を実現する

ソリューション

Informatica Axon Data Governanceによってエンタープライズレベルのデータガバナンス管理フレームワークとコラボレーションベースのビジネスグロッサリを開発

Informatica Enterprise Data Catalogによってコアシステムからメタデータを自動的にスキャンしてインデックス化

Informatica Data Qualityによってデータプロファイリングを定期的に行い、主要業績指標（KPI）と改善措置を追跡

導入効果

全社レベルで明確な定義を統一したこと、顧客情報やその他の業務データへの理解を深めることができる環境を実現

社内全体を通じてデータの移動と変換を完全に追跡することでエンドツーエンドのデータリネージュを確立

高水準のデータ品質を維持し、営業、意思決定、コストの最適化を実現する質の高い情報を提供



業務要件：

- ・ 真のエンドツーエンドソリューションでデータガバナンスとデータディスカバリを連携
- ・ オープンメタデータAPIを活用して、開発の高速化を実現
- ・ データ品質を自動化して、業務担当者の連携を支援

AIA Singapore社について

AIA Singapore社は、1931年以来90年近くにわたってシンガポール国民にサービスを提供してきた保険会社として、シンガポール国民が健康とライフステージごとの金銭的準備を重視していることを十分に理解しています。「Healthier, Longer, Better Lives」の実現をミッションに、革新的なソリューションを通じて顧客の健康と財産を支援しています。また、このミッションに基づき同社の金融サービスコンサルタントと保険担当者は、お客様第一を念頭に日々の業務に献身的に取り組んでいます。

導入事例: AIA Singapore社

AIA Singapore社は、シンガポール国民の健康と財産を守るために常に進化し続けることを使命としています。人口動態上の課題が山積し、テクノロジーが進歩する中、同社は詳細なインサイトを通じて顧客とのやり取りをこれまで以上にパーソナライズしようとしています。

顧客が求めるパーソナライズされたサービスを提供するため、AIA Singapore社は、データガバナンスを強化して、業務データやデータ標準、保険契約者に対する理解を深めたいと考えました。シンガポールを代表する生命保険会社になるという目標を達成するため、同社は標準化した明確なビジネスグロッサリを作成して全社レベルで公開し、データに対する理解をデータ作成者とデータ利用者の間で統一することで、レポートとアナリティクスの成果を改善することを目指していました。

また、業務データの状態に対する全社の理解を深めるだけでなく、リネージとインテリジェントなメタデータに基づいて、データを処理内容に応じて探索および理解する機能も必要としていました。

さらに、データ品質の改善も必要でした。顧客ごとの保険範囲の不足を特定して保険ニーズに適切に対応したり、意思決定を強化したり、運用コストを削減したりするためです。

AIA Singapore社のエンタープライズデータ担当セクション責任者、Ronald Chung氏は、次のように述べています。「データガバナンスの取り組みを一層強化して、ビジネス用語、データリネージ、ソースにおけるデータ品質をより正確に理解したいと考えていました」

次世代データガバナンスの実現

AIA Singapore社のエンタープライズデータチームはデータガバナンスプロジェクトに専念していました。そこで、データガバナンスのフレームワーク、ポリシー、プロセス、標準の作成を担うData Governance Council（データガバナンス評議会）を新たに創設しました。しかし、手作業のプロセスでは同社のビジョンを達成することはできません。同社が必要としていたのは、ガバナンスに関するコンテキストの把握、データ品質の自動化、業務担当者とIT担当者のギャップの解消などを実現する次世代データガバナンスツールセットでした。



「インフォマティカのソリューションにより、新しい、効率的な方法を通じてデータガバナンスとデータ管理の課題に取り組むことができます。また、さらに多くのビジネスを勝ち取ったり、既存顧客を維持したりするためのツールも獲得できます」

Ronald Chung氏

AIA Singapore社

エンタープライズデータ担当セクション
責任者



Informatica®

Informatica PowerCenterを長年使用してきた経験から、AIA Singapore社はTD Global社と協力して、データガバナンスとデータディスカバリのためのエンドツーエンドのインフォマティカソリューションを導入することにしました。まず、Informatica Axon Data Governanceを全社で導入して、コラボレーションベースのビジネスグロッサリを作成しました。そして、社内でのデータの利用場所を把握するために、Informatica Enterprise Data Catalogを導入して、技術メタデータをコアシステム（保険契約管理システムなど）から自動でスキャンしてインデックス化しました。プロジェクトの第1段階では、顧客データに焦点を絞りながら、40以上の重要なデータ要素に対して70以上のビジネスルールを実行しました。

また、AIA Singapore社はInformatica Data Qualityを使用して、データプロファイリングを定期的に行い、主要業績指標（KPI）と改善措置を追跡しています。定義したすべてのビジネスルールをInformatica Data Qualityで実行し、Axonにロールアップすることで、データ所有者とデータスチュワードはいつでもデータの品質を正確に把握できます。

Chung氏は次のように述べています。「Informatica AxonをEnterprise Data CatalogやData Qualityと統合することで、次世代データガバナンスのための完全なソリューションを獲得できました。例えば、生年月日に関するクエリを実行すれば、ビジネスグロッサリの定義が表示されます。また、その生年月日がマッピングされているシステム、テーブル、列も特定できます。今は重要なデータ要素について、ユーザーが実際にどこからアクセスしているのか、またどこで入力しているのかというところまで、エンドツーエンドのリネージを把握できるようになりました」

保険契約者への理解を深める

社内の定義を統一することで、AIA Singapore社は顧客情報などの重要な業務データに対する理解を深めることに成功しました。また、エンドツーエンドのデータリネージを確立して、社内におけるデータの移動と変換を完全に追跡することも可能になりました。さらに、保険代理店や従業員に適切な情報を提供して、営業、意思決定、コストを最適化することで、データ品質問題に関するレポートを受け取る事態も解消できました。

Chung氏は次のように述べています。「Informatica Data Qualityにより、最前線の代理店に正確な顧客データを提供して営業活動を支援できます。また、データ品質を重視する文化を醸成することで全社レベルの意思決定を強化したり、優れたインサイトを通じて特定の運用コストを最適化したりすることにも成功しました」



ソリューションの内容:

- Informatica Axon Data Governance
- Informatica Enterprise Data Catalog
- Informatica Data Quality
- Informatica PowerCenter

「データガバナンスの取り組みを一層強化して、ビジネス用語、データリネージ、ソースにおけるデータ品質をより正確に理解したいと考えていました」

Ronald Chung氏

AIA Singapore社
エンタープライズデータ担当セクション
責任者

AIA Singapore社はデータガバナンスの取り組みを引き続き推し進めています。今後は、次世代データガバナンスを活用して、その他のタイプのデータ（保険契約、保険請求、投資、財務など）を管理する予定です。

「インフォマティカのソリューションにより、新しい、効率的な方法を通じてデータガバナンスとデータ管理の課題に取り組むことができます。また、新たなビジネスに取り組んだり、既存顧客を維持したりするためのツールも獲得できます。Informatica Axon、Enterprise Data Catalog、Data Qualityにより、従業員や代理店が必要とする、管理性と実用性に優れたデータを確実に提供できるようになりました」(Chung氏)

デジタルトランスフォーメーションによって世界が変化しています。エンタープライズクラウドデータ管理のリーダーであるインフォマティカは、時代をインテリジェントにリードする企業を万全の態勢でサポートすると共に、俊敏性を高め、新たな成長機会を実現するだけでなく、新たなモノを生み出すことさえ可能にする将来への洞察力を提供します。インフォマティカは、企業がこれからインテリジェントな破壊的イノベーションを推進できるよう、当社が提供するあらゆるサービスを通じてデータの力を継続的に引き出すことを支援します。

インフォマティカ東京本社

〒105-6226 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー26階
電話: 03-6403-7600 (代表) | FAX: 03-3433-1021
informatica.com/jp | facebook.com/InfaJapan | twitter.com/Informaticajpn



© Copyright Informatica LLC 2020. Informatica、Informaticaロゴ、およびPowerCenterは、米国およびその他の国におけるInformatica LLCの商標または登録商標です。インフォマティカの商標の最新版は、<https://www.informatica.com/jp/trademarks.html>をご覧ください。その他すべての企業名および製品名は、各社が所有する商号または商標です。本文書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあり、現状のまま提供され、明示または黙示を問わず一切の保証を伴いません。